



## 防犯対策のよりどころ「実践!防犯環境論」

総合防犯士会(ASES) 理事 高尾 祐之

警察庁生活安全局生活安全企画課主催の防犯実務専科。

今年は、全国の警察本部から防犯対策を企画担当する警部補、巡查部長の階級にある警察官等28人(女性を含む。)が関東管区警察学校で研修を受けた。

6月26日(水)3限目の授業は、筆者が担当した。与えられたテーマは「住宅防犯診断の実習」。

全国的に住宅への侵入窃盗被害に対する国民の不安感が大きいことから、多くの警察本部や警察署では「住宅対象侵入窃盗」を重点抑止犯罪に指定している。そこで警察庁では、防犯対策を企画する警察本部の警察官に防犯診断の知識を習得させ、それを警察本部や警察署の防犯対策担当者に広めていきたいと考えた。

授業の準備段階でお願いした事前アンケート(この授業で聞いておきたいこと)には、様々な質問があった。北海道では季節の変わり目に灯油盗難、タイヤ盗難が増加する。青森では積雪時、環境が激変。その他、高齢者に効果的な防犯対策は?無縫まりが習慣化している家の防犯指導は?等々。

「アンケートを読ませていただきました。具体的で、詳細にわたる質問が多く、この授業に対する熱意を感じました。アンケートを読みながら、どのような授業を行おうかと私なりに考えました。結果、皆さんにこれから防犯対策に専門的に取り組んでいくことを考えた場合、将来にわたっても陳腐化しない基本的な考え方を伝えておくべきだと考えました。なぜなら、防犯診断をするにしても、防犯対策をするにしても、対象案件は、一つひとつ違います。マニュアル通りにいかないことのほうが多いのです。その時に、基本的なことを知っていれば迷うことなく応

用を効かせることができます。だから今日は、小手先の知識や皆さんにそれぞれの持ち場に帰ってから自分で勉強できることは後回しにしました。皆さんの具体的な質問は、今日、私の授業を聞いていただければ8割方、自分で答えが見つけられます。あとの2割は、警察本部に帰ってからでも自分で調べられます。そんなわけで、今日は防犯対策の基本となること、防犯対策の背骨となる考え方を皆さんに伝えることにしました。」と講義の趣旨を説明した。

用意したパワーポイント資料には、「防犯対策のよりどころ【実践!防犯環境論】」というタイトルをつけた。防犯対策は机上で論ずるのではなく現場で実践しなければ意味がない。だから、「防犯環境論」の頭に「実践」をつけて「実践!防犯環境論」という一つの言葉にした。

「実践!防犯環境論」は、“捕まりたくない”という犯罪企図者心理に注目した実践理論だ。この心理を犯罪企図者唯一の弱点と捉えた。

講義の前半は、第1章「犯罪を知らずして対策なし」。第2章からは後半、「木を見て森を見ず」からの脱却。第3章「弱点を攻め、リスクを高める」。第4章「向こう三軒両隣で…」。最後は、第5章「防犯環境をプロデュース」。およそ60分の座学。

主な内容は、「実践!防犯環境論」3つの主張。①防犯対策は自分たちの目線ではなく、犯罪企図者の目線で考えること。②防犯対策の選択肢が広がれば、予算に応じた対策が可能になる。③犯罪企図者の弱点を攻めて、リスクを高める環境づくりをしよう。

教室での座学を終えた後、模擬家屋へ移動し臨場感のある実習を行った。

「防犯に奇をてらう対策はありません。しかし、基本を身

## 委員会レポート（特別寄稿）

につけ考え方を少し変えれば、案件ごとに応用が効くようになります。最後に一言、皆さんがそれぞれの警察本部に帰り、防犯対策を企画する時、防犯設備士や各地域の防犯設備士協会とうまく連携していただきたいと思います。皆さんの片腕としてきっと役に立つでしょう。」と締めくくった。80分の授業が終わった。

各自が自分で考えるための授業。そのために、幹となる部分を伝えたい。しっかりとした幹があれば枝葉の部分は後からでも学ぶことができる。専門家とうまく連携し、防犯対策の指揮棒が振れるレベルになってほしい。そんな思いを胸に授業に臨んだ。

何よりも自分の持ち場（地域社会）を知ること。犯罪

を未然に防ぐ対策のヒントは、会議室ではなく現場に転がっているのだ。



## 委員会へ参加のお願い

当協会では、正会員の皆様からの参加者によって委員会を構成し、防犯機器の調査研究や防犯設備に関する技術基準の策定など、各種の委員会活動を展開しております。

現在、参加いただいている正会員の方々にも新たな委員として積極的に参加・活動していただきたく、新委員の募集をいたしております。（委員会は38頁をご参照ください。）

参加ご希望の方は、協会事務局または各委員会までご連絡ください。



総合防犯士会  
ADVANCED SECURITY  
EXPERT SOCIETY

## … “防犯環境づくり” プロジェクト by ASES …

選択の幅を広げ、目的・予算に応じた防犯対策を推進、実践



### 【防犯対策は“防犯環境づくり”が肝要】

防犯設備に精通する「総合防犯士会」が防犯環境づくりに参画  
(「総合防犯士会」は「総合防犯設備士」有志の全国ネットワークです)

## 防犯環境づくりで、お客様個々の課題を解決



### 【5つの要素でつくる防犯環境】

- ① 挨拶・声掛けの習慣化
- ② 環境浄化・清掃・整理整頓（落書き、ポイ捨ての早期除去など）
- ③ 運用管理（防犯上のルール作り、動線管理など）
- ④ 防犯設備・防犯システム（予算に応じた適切な設備やシステムの導入）
- ⑤ 内外への告知（犯罪を起こさせない意思表示）

総合防犯士会

### 「防犯環境プロデュース・プロジェクト」

〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-4 第2長谷川ビル4F 日本防犯設備協会内

Tel&fax: 03-3437-0359 e-mail: info@sogobouhan.org

プロジェクトのお客様窓口 : 総括マネジャー 高尾祐之（総合防犯士会理事）